

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	岐阜支部	(2)記載者氏名:	野村 百合子	会員番号:	11799	事務局整理記入欄	岐阜 - 1
分水嶺区分	W070峠1180~W074蛭ヶ野公園	(3)山行日:	2003年	11月	15日	(4)天候:	曇り

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

白木 貞次	5437	堀 義博	11707	丹羽 邦夫	13021	早田 道治	5626
佐藤 正雄	7498	野村百合子	11799			久野 菊子	11797
高木 基揚	8016	西條 好迪	11891				
藤井 法道	11533	今峰 正利	12744				
				計	9名	計	2名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	1180m峠~見当山肩~郡上高原ゴルフ場東~別荘地~板橋(高速道路橋)~蛭ヶ野~ひるがの高原~R156蛭ヶ野分水嶺公園												
アプローチ:	スタート、ゴール共に車で入れるので特に無し。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	1180m峠												
分水嶺到達点W070	1342m点											B-2	
W071	見当山肩											A-1	
W072	郡上高原ゴルフ場東		136	56	53	35	58	48	1,096			(A-1) (B-2)	
W073	板橋(高速道路橋)											(A-2)~(B-1)	
	1043.9(点名)蛭ヶ野											B-2	
	道路出合い											(A-2) (B-2)	
分水嶺離別点W074	R156蛭ヶ野分水嶺公園		136	51	5	35	59	40	878			(A-2)~(B-1)	
歩行終了点													
												総歩行時間(休憩時間を除く):	5時間25分

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W071(見当山)	一色	2	計測せず	良好	E136°57'36 N35°58'53 (点の記より)
1043.9	蛭ヶ野	3	計測せず	良好	E136°55'15 N36°00'32 (点の記より)

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

1180m~1342m 旧牧草地境で牧柵支柱、有刺鉄線が残る。イノシシ用農穴が10m~20m間隔で残る。長径2m短径1m 深さ0.5m~1m埋まりつつある
郡上高原ゴルフ場東~板橋 別荘地となり道路開削等で地形が著しく変わっており、地図上からの判断は難しい。
板橋 中央分水嶺と記した橋が東海北陸自動車道路の上に架かっている。
板橋~1043.9m(点名)蛭ヶ野の麓は旧別荘地だが、うち捨てられて廃屋となっている。

(9)水および植生に関連した特記事項

1180m~1342m 取り付き付近はスギ、ヒノキの人工林。その先はミズナラ、シラカバの高木にハイイヌガヤ、イヌツガ、チシマザサ を林床にもつ疎林。東斜面は荘川一色牧場から続く混雑林。
1342m~郡上高原ゴルフ場東 前区間から同じブナ、ミズナラの高木疎林が続く。郡上高原ゴルフ場東近くになるとスギ、ヒノキ の人工林となる。
1043.9m(蛭ヶ野)~道路出会 カラマツの人工林。地表面はチシマザサが密生する。

(10)その他の特記事項

蛭ヶ野高原を中心として古くから開拓の手が入っており、近年は別荘地としての分譲が盛んに行なわれている。その為、本コース の森林は大部分が2次林又は人工林であり、農地用や別荘地も多い。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 別紙参照

山行報告書(続き)  
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



1. W070 ~ W071の稜線鞍部の状況で分水の様子がよく分かる。  
植生はブナの高木にチシマザサ、落ち葉が厚くつもっている。



2. W073 東海北陸自動車道路に架かる橋で、分水嶺であることを表示している。